

自分は「普通」だと思い込んで生きている人々の異常さ。
「普通」から外れてもなお、生きようと足掻く人の尊さ。
こんな素敵なお人々を目の当たりに出来て、
一緒に悩めて、喜べる瞬間が得られるから、
私は映画が好きです。

——東出昌大 / 俳優

原作：うめざわしゅん × 主演：吉村界人 × 監督：林 隆行
『ダーウィン事変』 『ミッドナイトスワン』 『情動』

残酷で、美しい、青春の物語

都心から少し離れた寂れた港町で、“ある男”が起こした監禁事件。
被害者の女子高生、工藤麻衣は、学校に復学するも浮いた存在となっていた。
そんな彼女に唯一話しかける同級生の氏家。
彼もまた、度重なる問題行動を起こし、学校に馴染めていない一人だった。
そんなある日、クラスメイトからの陰湿な嫌がらせに対して、暴力で対抗しようとする氏家。
その様子を目の当たりにした麻衣は、“ある男”の言葉を思い出し、行動を起こす。
監禁生活で麻衣が受け取ったものとは、そして彼女が起こした行動の本当の意味とは一。
ある男、麻衣、氏家。三人が複雑に連鎖し、思いもよらぬエンディングに向かっていく。

原作は、不世出の天才としてカルト的な人気を誇り、月刊アフタヌーンで連載中の『ダーウィン事変』にて、マンガ大賞2022大賞を受賞した“うめざわしゅん”作のオムニバス集『一匹と九十九匹と』に収録された一編『海の夜明けから真昼まで』
監禁事件の犯人である、謎多きある男を演じるのは、第10回TAMA映画賞にて最優秀新進男優賞を受賞し『ミッドナイトスワン』などで知られる怪優“吉村界人”
監禁事件の被害者であり、この物語の鍵となる女子高生、工藤麻衣役には、圧倒的な透明感と唯一無二の雰囲気、SNS界隈でも注目を集める若手女優“羽音”を抜擢。

麻衣の同級生、氏家に扮するのは『許された子どもたち』にて、第75回毎日映画コンクール スポニチグランプリ新人賞を受賞した期待の若手俳優“上村侑”
その他、カトウシンスケ、遠藤留奈、若林時英、櫻井健人、三浦獠太、林裕太、山崎翠佳、栗林藍希、さくら、など
実力派、個性派、フレッシュな若手が集結。
それらをまとめる監督には、日本映画界を牽引する監督を輩出してきた若手映画監督の登竜門 田辺・弁慶映画祭、第15回にて吉村界人主演の短編『情動』にて、異例の審査員特別賞を受賞した監督“林隆行”若き才能が集結し、現代社会に一石を投じる意欲作。



8/4 (fri)
より、全国順次公開

UPLINK 吉祥寺
0422-66-5042
joji@uplink.co.jp



umino-yosuke.com
@umino_yosuke
@umino_yosuke

海の夜明けから真昼まで

監督・脚本 林隆行

原作 うめざわしゅん

「海の夜明けから真昼まで」(一匹と九十九匹と)所収

人間には、
幸福になる義務がある。

吉村界人 羽音 上村侑

若林時英 櫻井健人 三浦獠太 林裕太 山崎翠佳 栗林藍希 さくら 遠藤留奈 / カトウシンスケ

製作: ARARAT・SKALY・kigo inc. プロデューサー: 松原史和・加島貴彦・松井優・羽染達也 ラインプロデューサー: 大門剛 音楽: 加藤久貴 音楽プロデューサー: 濱野睦美
撮影: 安岡洋史 照明: 織田誠 美術: 中村三五 装飾: 室井彩香 衣装: 石谷衣 ヘアメイク: 七絵 アクションコレオグラファー: 高槻祐士
編集: 中村幸志朗 VFX: KASSEN 音効・整音: 渡辺寛志 キャスティング: 田中裕也・大橋優衣 助監督: 土田準平 制作担当: 石賀康寛 デザイン: 南浦ソウスケ
制作プロダクション: ARARAT 宣伝・配給: 「海の夜明けから真昼まで」製作チーム・ARARAT